

スパインボードによる頭頸部固定と搬送法に関する実技実習

日時：2014年6月17日（火）16：35～17：15

場所：武道館トレーニングルーム

参加者：武道館担当学生3名、教員3名 計6名

実習内容

山本明秀先生の指導により、「もし武道館内で選手が倒れた場合」を想定し、スパインボードによる頭頸部固定と搬送法に関する実習を行いました。

スパインボードへの乗せ方

- ① 頭部を中立位に固定保持している者が、鼻、顎、臍が一直線になっている事を確認する。
- ② ボードを傷病者の主受傷側に置く。
- ③ 傷病者の身体を横に起こす。起こす時は手を深く入れて、頭部保持者の合図で注意深く行う。
- ④ 90度まで傷病者の身体を起こす。耳、肩、腸骨稜が一直線になっていることを確認しながら行う。
- ⑤ ボードを差し込む。その時の角度は30度～45度。
- ⑥ 合図で傷病者を長軸方向へ移動させ、ボードの中央に移す。



気づき・感想

女子3名で90kgの男性の運搬を試みましたが、ボードに乗せる際、男性の半身を浮かせることが精一杯でボードを片手で身体の下に滑りこませるのが大変難しかった。また、滑りやすい床面ではスパインボードを移動させやすいが、トレーニングルームのような床面がゴム製マットのところでは難しいところがありました。床面等の環境に合わせた緊急時の準備・対応が大事であると感じました。また、定期的にこのような講習を行い、武道館担当スタッフの技術の向上を計っていかたいと思いました。

(医療技術学部スポーツ医療学科3年 田中瑞紀)